

(株)フクナガエンジニアリングがお送りする環境ビジネス情報誌

# FECON NEWS

フェコニュース

2006.AUTUMN

vol.19 

株式会社フクナガエンジニアリング  
<http://www.ecosoft.co.jp>


# Reuse BAG

## No More 使い捨て!



### フクナガの リユース活動 最前線

#### contents

- CLOSE UP  
リユースバッグ  
(使用済みコンテナバッグの買取・販売)
- エコソフトバッグ開発談 ①
- エコソフトタイヤの   
森山商店
- フクナガ探検隊  
総務部 口之町さん
- 新たに「パソコンリサイクル」が年内始動!
- 鐘の中国とびきり現地レポート
- information
- 読者プレゼント
- 事務局のつぶやき

ワンガリ・マータイさん。みなさん、この名前に聞き覚えがありますか? そう、  
もったいない  
「MOTTAINAI」を合言葉に、限りある資源の有効活用と地球環境の保護を訴える「MOTTAINAIキャンペーン」を展開しているケニアの環境副大臣です。彼女は昨年の来日時、リデュース Reduce、リユース Reuse、リサイクル Recycleの3つのRを、たったひと言で言い表している日本語の「もったいない」精神に出会い、深く感銘を受けたそうです。それを機に彼女が「MOTTAINAIキャンペーン」を始めた一方で、我がフクナガでも、今まで常識化されていたコンテナバッグの使い捨てを阻止しようとリユース活動に一層力を入れています。(詳しくはP2へ)

## リユースバッグ (使用済みコンテナバッグの買取・販売)

資材・原料・製品・廃棄物などの仕分けや輸送・回収に最適な入れ物として、業種問わず多くのお客さまに愛用されているソフトバッグ。だが、一度使ったらそれで終わりというのが長年の常識だった。そんな常識を覆そうとフクナガでは使い終わったバッグの回収処理・補修・再利用の仕組みを構築。リサイクルだけでなくリユース促進に向け、力を注ぐチームリーダー・有田氏に話を聞いた。



1.集塵機にかける  
回収したコンテナバッグは、まず集塵機にかけて袋の中のゴミや埃などを吸い取る。



2.たたむ  
集塵済みのコンテナバッグを台の上に広げ、適度な大きさに折り畳んでいく。



3.減容機にかける  
手で折り畳むだけではかさばるので、減容機でプレスすることでペタンコにする。

### コンテナバッグの再使用を促進

重さ2.1kgでありながら最大耐荷重1tという軽さと強さを併せ持つソフトバッグ。そのため物流時の過積載対策や回収時の運搬作業も楽になり、作業効率のアップにもつながると好評を得ているが、使用後の行方はどういうと…。廃プラスチックとして埋め立てられるという“使い捨て”の運命だった。

「中には、まだ使える状態にもかかわらず、廃棄処分さ

れてしまうケースも。それもこれもコンテナバッグ＝使い捨てというのが業界の常識になっているから。でも、お客さまの中には、「逆にゴミとして捨てるにも経費がかかるから、引き取って欲しくないか」という方も。当社がコンテナバッグのリユースを始めたのも、実はそんなお客さまからの声がかっけでした」と有田氏。

### リユースバッグは究極のエコ商品

リユースバッグのほかにも、フクナガでは再生原料を使用したエコソフトバッグなど環境に配慮したソフトバッグ作りを推進している。しかし、その中でも、**リユースバッグが一番のエコ商品**だという。「使用済みのバッグを買い取り、再使用の状態にするまでの間、集塵機などの機械こそ使うものの、燃料を使って原料を溶かすというような化学工程は一切なし。また、一度使っただけでゴミとして捨てられたかもしれない貴重な資源をほんのわずかな作業で再使用できるようにするわけですから、これこそ環境にやさしい究極の仕組みだと自負して

います。もちろん、バッグをリユースに回す企業にとっても、**処理費用の削減**や、今まで一定量に達するまで使用済みコンテナバッグに占拠されていた**スペースの有効活用**につながるなどメリットも大きいです」

### 買取条件の緩和をめざして

リユース活動の推進に努めているとはいえ、コンプライアンスの観点から、現状では特定の社名が印刷されたバッグや油などで汚損したものは引き取れないなど買取には一定の条件を設けている。「しかし、中には当社の企業努力で緩和できる条件もあります。たとえば、今はまだ水洗浄が必要な汚損したバッグは引き取れませんが、水洗浄業者と業務提携するなどすれば問題は解決できるはず。そうやって少しでも、みなさんがより利用しやすいよう買取条件の緩和に努めることで、今後はリユースバッグがソフトバッグ事業部の売上1/3を占めるまでに育てていければと思っています」



ソフトバッグ事業部  
リユース担当 チームリーダー  
有田 知巳 氏

### 買取までの流れ

#### まずはお問い合わせ!



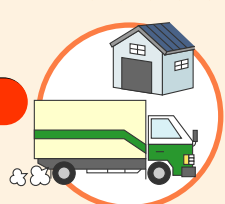
1. まずはお電話下さい。買い取りの流れや鑑定基準・買い取り価格などについてご説明させていただきます。

#### サンプル送付、鑑定



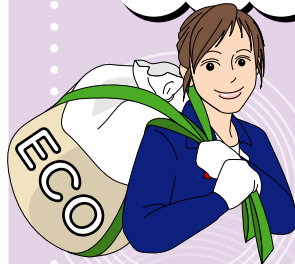
2. サンプルをお送り頂ければ、無料にて鑑定。買い取り価格を提示いたします。

#### 買取決定!!



3. 買い取り条件にご納得頂ければ、契約成立。当社指定倉庫に使用済みコンテナバッグをお送り下さい。

### エコソフトバッグ開発談 ①



再生原料を使用した環境にやさしい「エコソフトバッグ」。その量産化に伴い、今回から同製品の開発ストーリーをご紹介します。第1回目の今回は、まず開発経緯やその特徴に関する話からスタート!

はじめまして。ソフトバッグ事業部でエコソフトバッグの開発を担当している王暁光です。ようやく量産化の段階に漕ぎ着け、開発者である私もホッとひと息…のはずが、相変わらず事務所とラボを行ったり来たりでバタバタの毎日を送っています(笑)。このコーナーでは心血を注いで開発に取り組んだエコソフトバッグについて、私がナビゲーター役となってみなさまにお伝えしていきますのでどうぞよろしくお願いたします。

#### ●2種類あるエコソフトバッグ

まずひとくちにエコソフトバッグといっても、原料別に次の2種類にわかれます。**廃プラスチックが原料のバッグと、使用済みコンテナバッグを原料とする「Bag To Bag」と呼ばれるバッグ**です。後者は現在開発中、前者はすでに量産化段階に入っていますが、開発にあたっては従来品と変わらぬ品質を保つため何度も改良を重

ねてきました。その結果、再生原料を50%以上配合しながらも、**初期強度はバージン比約9割相当で耐候性はバージン以上を誇ります**。

#### ●開発のきっかけはお客さまの一言

さて、さかのぼること1年半前。エコソフトバッグの開発は、ある展示会でお客さまから「環境に配慮した事業を行っているということは、ソフトバッグにも再生原料などが使用されている?」と聞かれたことをきっかけに始まりました。当時は100%バージンのPPを使用したバッグしかなく、それが当たり前だと思っていました。しかし、お客さまの言う通り確かに再生原料を使ったソフトバッグがあってもいいのではと開発プロジェクトが立ち上がったのです。開発中のエピソードについてはまた次回たっぷりご紹介していきますので、どうぞご期待ください。



ソフトバッグ事業部  
エコソフトバッグ開発担当

わん ぎょうこう  
王 暁光さん

# エコソフトタイヤの<sup>ウ</sup>

## 森山商店

TEL : 06-6481-9024  
FAX : 06-6481-9024

エコソフトタイヤがつなぐ、みんなの<sup>ウ</sup>。今回は、金属くずの再処理業で40年の歴史を持つ森山商店さまです。同社の作業場で活躍するショベルローダに使われているのが当社のノーパンクタイヤ「キクロス」。ひと月に2回のタイヤ交換が必要というヘビーユーザーとして愛用いただいているジャン・レノ似のチョイワル系社長、森山寿雄さんにお話を伺いました。

### 金属くずを鉄鋼原料に再資源化

森山商店の作業場は、大阪府柏原市にある大手鉄鋼グループ会社の工場の一角にある。工場では石油掘削用のパイプどうしをつなぐカップリングという特殊な部品が製造されている。そのカップリングをつくる際に発生するダライ粉と呼ばれる金属くずを鉄鋼原料として再利用できるよう加工するのが同社の仕事だ。「石油掘削用パイプの生産は景気に左右されることなく受注があるため忙しくさせてもらっています」と森山さんの日に焼けた顔がほころぶ。

コンベアから絶え間なく落ちてくるダライ粉は、ショベルローダによってチッピングマシンという機械に運ばれ、さらに細かい切れ粉(きれこ)の状態にしてからトラックに積まれ、鉄鋼メーカーに鉄鋼原料として納められる。その作業場にはなぜか無数のダライ粉が金属くずのじゅうたんを敷い



工場内には金属くずがじゅうたんのよう敷き詰められている。



森山社長愛用のショベルローダ。



磨耗したタイヤ。金属くずとの激しい摩擦の跡がうかがえる。

たように散らばっている。「床をむき出しにしておくと鉄についた油でショベルローダがスリップして危ないので滑り止めとして敷いているんです」。安全のためのひと工夫なのだが、その一方で森山さんを悩ませていることがあった。

### タイヤ代のコストを大幅に削減

ダライ粉との激しい摩擦でショベルローダのノーパンクタイヤがあっという間に磨り減ってしまうのだ。「毎月のタイヤ交換費用だけで20万円。何とかせなあかんと思いついてインターネットで“ノーパンクタイヤ”で検索し行き着いたのが、フクナガさんのキクロスタイヤだったんです」。キクロスタイヤは、従来使っていた他社のノーパンクタイヤと比べ価格面で安いうえに、ホイールと一体でお届けするため取り付けも簡単でそのための作業費用も抑えることができる。3月の導入以降、タイヤ関連の費用を3割強抑えることができた。ゴム

の3層構造により乗り心地の快適さも実現している。「大手タイヤメーカーと比べてフクナガさんのノーパンクタイヤのコストパフォーマンスが高い。今後も、より長持ちする新製品の開発に期待しています。と、すっかりほれ込んでいます。父親の後を受けて森山商店を継いだのは14年前。「父は煙突やボイラーの解体をしていましたが、誠実な人柄で人脈を広げ事業を広げていきました」。話し好きの森山社長の会話の幅はやわらかいテーマから教育論まで広い。「楽しいか、楽しくないかがぼくの基準。どうせなら楽しい方がいいでしょ」と森山社長。これまでも取引先の人たちと親睦グループをつくるなど明るく包容力のある人柄を慕う仲間は多い。「父とはやり方は違ってもいいけれど、人とのつながりでここまでくることができました」。森山商店の成長の秘密は、人の「<sup>ウ</sup>」にありそうだ。

### お客さまから一言



森山商店代表取締役  
森山 寿雄 氏

エコソフトタイヤ事業部の斉藤さんと。最初にフクナガさんに電話をかけたときに出てくれたのが“斉藤ちゃん”。かちかちの営業マンキャラではなく、いつも丁寧に一生懸命対応してくれる姿が印象的です。お互い実家が近いこともわかって共通の話題で盛り上がることも。元氣?と会社によく電話かける仲間ですよ。

## 第7回 フクナガ探検隊

今回のターゲットは、総務部の口之町いずみさん。本人いわく「いつもポヤンとしていて、A型の割に繊細さに欠ける性格」とのことですが、果たして真相はいかに?

### INTRODUCTION



名称\_口之町いずみさん  
生息地\_総務部

2004年入社。神戸オフィス勤務を経て大阪本社へ。プライベートでは映画を月に10本は見るとの映画好き。また最近では脱ペーパードライバーに向け、運転を練習中。

### ■「のんびり」と重要責務をこなす

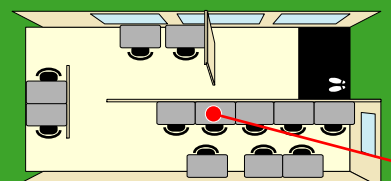
口之町さんの出身地は、鹿児島県。高校卒業後、大学進学にあたり京都に出てきました。卒業後、フクナガに就職したのが3年前。現在は本社の総務部で、主に経理を担当しています。「最近、上司が退職されたこともあって、今まで以上に責任ある仕事を任せられるように。これを機に、もっとしっかりしなきゃと自覚して自分ではそうしているつもりが、どうも周囲からはそう思われていなくて…(笑)」と苦笑いを浮かべる。ゆっくりとした口調が、のんびりしたイメージを相手に与えてしまうのがその原因のようですが、オフィスにお邪魔して仕事をしている様子

を窺ってみると、なかなかどうしてテキパキと仕事を片づけていきます。任されている仕事も、日々の経費管理のほか輸入業務に必要な為替管理から銀行との折衝業務まで確かに責任の重いものばかり。それを見「のんびり」とこなしてしまうほうが、かえってスゴイかも。

### ■京都から兵庫さらに大阪へ

そんな口之町さんは、この6年間に京都、兵庫、大阪と3度の引越を経験。その中でも、やっぱり一番好きな街は学生時代を過ごした京都だそう。「今でも休日には買物に京都まで出かけちゃいます。人込みは苦手ですが、京都は繁華街から少し歩けば鴨川な

んかの自然がすぐ近くにあるので、心が落ち着きます」しかし、京都以上に彼女のまぶたの裏にやきついて離れない景色は、18年間毎日見て育った故郷・桜島の風景。そんな懐かしい原風景をいつも忘れず大事にしているからこそ、どこにいても飾らず変わらない自分らしさを発揮できているような気がします。どうぞこれからも、ゆったり・どっしりとフクナガを支えていってくださいな。



生息中

**金属類だけじゃない!**

# 新たに「パソコンリサイクル」が年内始動!

- 特徴**
- ◆ 1.金属類同様、適正処理のあかしである「リサイクル伝票」を発行します。
  - ◆ 2.捨てればゴミになりますが、リサイクルによって貴重な資源に生まれ変わります。
  - ◆ 3.パソコンには高価な資源が使用されているので、リサイクルに回すことで処理費用の削減にもつながります。
- ※ブラウン管型は対象外になります。



今や企業にも家庭にも当たり前のように普及しているパソコンですが、いざ処分するとなった場合、みなさんはどうしていますか? パソコンは産業廃棄物だけに捨てるには当然それなりの費用がかかります。1台や2台ならまだしも、企業などでいっぺんに買い替えるとなると処理費用もバカになりません。そのため、近年はフクナガにも「パソコン類のリサイクルは行っていないのか」という問い合わせが多く寄せられるようになっていました。そんなお客さまのニーズに応える形で、フクナガでも、パソコン回収を手がけてきました。そうやって少しずつ社内にパソコンリサイクルのノウハウを蓄積する一方、パソコンのリサイクルやリユースを専門に手がける専門業者など数社へフクナガの担当者が足を運び、そこに持ち込まれたパソコンの適正処理方法や、分別ラインなどを見学。それを参考にしながら、この度ようやく本格的にパソコンリサイクルを請け負える体制作りに励んでいます。パソコン処理でお困りの方は一度ご相談下さい。どうぞよろしくお願い申し上げます。

大西

(株)フクナガエンジニアリング リサイクル事業部  
〒536-0014 大阪市城東区鳴野西5-13-30  
☎0120-69-3631 FAX 06-6969-3611  
E-mail recycle@ecosoft.co.jp  
http://www.ecosoft.co.jp/

## 事務局のつぶやき

フェコニュース事務局メンバーの中川です。フクナガのことをいろいろ知っていただきたく、今回から始めました。まずは私、中川の紹介から!

普段はソフトバンク事業部で活躍中! 汗(冷汗?)をかきかきがんばっております。

そんな中川さんのマイブームは... ハーモニカ! 初任給で買いました。音かでない!

さっさと問題です。クイズに解答していただいた中から下の素敵な商品をプレゼントします。

**問題** リユースバッグの「買取までの流れ」の正しい順番はどれでしょう?  
A:問合せ B:鑑定 C:買取決定

①:A→B→C  
②:B→A→C  
③:C→A→B

ヒント...特集ページをご覧ください!

## 鐘の中国とびきり現地レポート

今回は急激に都市化が進む上海の昔と現在を、日本との比較もおりませながらお話ししたいと思います。

上海は1800年代から、アヘン戦争などに関連して多くのヨーロッパや中国の政治家・商人が活動した、現代史の舞台となった街です。昔は自動車と言えばバス・トラックやパトカー・行政官の車でしたが、今では全世界の自動車メーカーが進出しています。ただトヨタ・カローラでも200万円ぐらいします。今年の前半に値引き競争があつて、少し安くなりましたが、中国は、共産党や行政の批判をしません。

なぜかと言うと、選挙制度もなく、政治体制は一党独裁が旧態然としており、批判は許されません。しかし、一方一党独裁にも良い点があつて、土地はすべて国有なので、現在の使用者に代替地を与えて、新しい道路や巨大な建築物を建設することができます。日本で20年前に計画された工事が、未だ実現していないのとはスピードが違います。一度、急激に発展している街、上海を訪問してみ下さい。

## 読者プレゼント

今回は、食欲・スポーツ・読書といった「3つの秋」に関するアイテムをセレクト。ご希望の商品名、氏名、年齢、住所、電話番号、フェコニュースの感想をご記入のうえ、ふるってご応募下さい。

**A賞** 大阪名物 ミックスジュース 6缶セット 4名様  
大阪名物・喫茶店の味。バナナ、いちご、ミックスの3種類入り。

**B賞** 体脂肪計 2名様  
スポーツのあとは、気になる体脂肪チェックを!

**C賞** ブックカバー 3名様  
ミステリーから恋愛小説まで、あなたのお気に入りの一冊に。

**応募方法** 専用の応募用紙を下記までFAXいただくか、HPのアンケートフォームよりお申込み下さい。なお、当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

**宛先** 〒536-0014 大阪市城東区鳴野西5-13-30 (株)フクナガエンジニアリング フェコニュース編集部  
FAX番号 06-6969-3611  
URL http://www.ecosoft.co.jp/

**応募締切** 10月31日(火) 必着

## Information Information Information Information Information Information

### 車イス贈呈1621台突破!!~プルタブ・アルミ缶回収運動~

「プルタブ・アルミ缶回収運動」をみなさんご存知ですか? 平成2年から当社を本部とする環公害防止連絡協議会により始まったリサイクル運動で、プルタブやアルミ缶などアルミ資源を800Kg集めて車椅子と交換しています(フェコニュースVol.16の特集記事でも紹介)。平成18年現在で1621台の車イスを贈る事ができました!1台の車イスに必要なプルタブの数が約160万個・アルミ缶なら3万5千個。もし1621台全てプルタブだけで交換したなら、約26億個になります。プルタブ1つの大きさが2.5cmなので、26億個のプルタブを全て繋ぎ合わせると...約7万km!これは地球1.8周に相当します!!(地球1周4万km)

今後、「プルタブ・アルミ缶回収運動」をもっと大勢の方に参加してもらい、みなさんと一緒にプルタブの鎖で地球100周を目指しましょう!! 総務部 安東

発行元:(株)フクナガエンジニアリング  
〒536-0014  
大阪市城東区鳴野西5-13-30  
TEL 06-6969-3631(代)  
FAX 06-6969-3611  
E-mail info@ecosoft.co.jp  
http://www.ecosoft.co.jp/ 携帯で簡単アクセス!



●今後フェコニュースの送付が必要なお客様へ●  
お手数ですが、「今後フェコニュースの送付を必要としない」との旨を電話・FAX・E-mail等でフェコニュース編集部までご連絡ください。

## AFTERWORD

パソコンリサイクルのお話をリサイクル事業部の大西さんにお伺いしたのですが、ひとつのパソコンから実にさまざまな資源が再利用できるものなんだなあ、と感心することしきりでした。鉄やプラスチックはなんとなくイメージが湧くのですが、金までもが部品に使われているなんて、意外ですね。現場の一角には、分解されたパソコンの山が。これらがキレイに生まれ変わって、いつか持ち主も知らないうちに店頭で再会したりする日に来るのかもしれないね。

## 編集後記

